

聖人たちのビジョン

2018年10月1日

読者の皆さん

米国東部とカナダによく見られる木があります。その葉はハートの形をしていて、秋の訪れと共に、赤やオレンジ色、黄金色に変わります。私はこの木のそばを通ると、いつもほほ笑んでしまいます。小さなハートの流れが枝から滴り、色の滝が私たちをこの季節に迎え入れてくれます。

しかし、私にとってそれよりもさらに魅惑的なものは、木から舞い落ちてはぐれた葉です。あなたもご存じでしょう。草や歩道にあるものなどにまぎれ、極めて控えめで、その表面には少しまだら模様がつき、端は軽く丸まっています。しかし、その本質は、ずっとそのまま——ハートです。

この現象の中には、人が平凡と非凡を同時に読み取ることのできる多くの物語があります。それは時を超えた存在の物語かもしれません。それは自然力の命令、この命に真の意味を与える確かな何かの不朽の魂を、尊重し、かつ超越する物語かもしれません。それはまた——それに関連して——恩恵がどのようにしてあらゆるものを包み込み、最も予想外の場所にさえも見いだすことができるという物語かもしれません。

今月、10月はバーバの月です。バーバのマハーサマーディ、彼が肉体を離れ、この宇宙の一つ一つの植物や生き物そして無生物の粒子の中で脈動する偉大で広大な大いなる意識と、完全に一体となった記念日を祝う時です。バーバは1982年10月2日の満月の日にマハー

サマーディを迎えました。今年の太陰暦のバーバのマハーサマーディの記念日は10月24日です。

シッダ・ヨーガの道の生徒たちにとって、この時期に私たちの周囲で見取れる、恩恵——バーバの恩恵——を思い出させる多くのことに注目することは伝統になっています。それらは、「バーバの印」と呼ばれています。それらの印を知覚すること、それらの共時性に気づくことによって、バーバが私たちと共に在ることを感じます。バーバはここにいると分かるのです。

そして、私たちはこの感覚に対して何かをすることができます——これがおそらく最も大切なことです。私たちがそうすることを選ぶなら、私たちが見つける印をサーダナーへの励ましとして、ゴールを達成する私たちの努力は計り知れないほど支えられていると知りながらグルの教えを実践し続けることを思い出させるものとして、受け取ることができます。そうする時——さらにそのような行動を取る時——驚くべきことが起こります。私たちの恩恵に気づく力が、広がり、変容するのです。

グルマーイは何度も、バーバが「ブルーパール」について教えることを、どれほど愛していたかについて話しました。それはニーラ・ビンドゥと呼ばれ、サーダナーの崇高なゴールであり、宇宙全体とその宇宙と私たちとの一体性が、ゴマの種一粒大の青い光の点の中に包含されたものです。グルマーイはブルーパールは、バーバが最も大切にされた体験だったと言っています。それは、私たちが意識の中にとどめ、とりわけ今年のグルマーイのメッセージ、「サツァング」、真理の仲間の年に熟考すべき美しいイメージです。

瞑想や夢の中や起きている時にブルーパールを見ることは、「サツァング」の体験を持つということ。それは私たちの真の大いなる自己とつながり、その同じ大いなる自己を、私たちの周りにあるすべてのものの中に認めるということです。それは知的にだけでなく、本能的に、

直感的に —— 私たちの骨や組織の中で、そして、私たちの魂が住んでいるであろう場所
—— バーバの教え、「お互いの中に神を見なさい」の意味を理解することです。

私はいつも、バーバがどのように世界を見ていたかについての彼の描写を読んだり聞いたりするのが大好きでした。バーバは、誰かが彼の前にやって来た時に最初に見たものはブルーパールだった、すべてのものやすべての人がきらめく青い光で作られていた、と言っていました。このビジョンをただ「考える」だけで、畏敬の念が起きます。そのようなビジョンが存在するという事実を思うだけで —— そしてそれはこの世界の真の現実ですが —— 不思議さ、驚き、感謝が湧き上がります。それは聖人たちのビジョンであり、彼らが私たちを招き入れる現実です。

ですから、10月にあなたの「サツァング」の実践を続ける時に、バーバと彼が教えたことを思い出してください。バーバが探究者たちの中に目覚めさせたビジョン——ブルーパールのビジョン——について熟考してください。立ち止まり、つながることを続け、ただ目の奥で花火を見たいという欲望のためではなく、「Who am I? 私は誰か?」という問いについて知りたい、理解したい、答えたい、という純粋な切望があるからこそ、あなたの内なる探究は強められるのです。

Who are you? Who am I? From where did I come?

あなたはだれか？ 私はだれか？ 私はどこから来たのか？¹

¹ *Bhaja Govindam*,” verse 12, in *The Nectar of Chanting* (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1984), p. 189.

これらの問いは、「バジャ・ゴーヴィンダム」、ヴェーダ哲学に基づくサンスクリット語の文章で、シッダ・ヨーガのアーシュラムで歌われてきましたが、その中で、偉大な賢人アーディ・シャンカラチャーリヤによって提起されています。グルマーイは、今年のメッセージの講話の中で、アーディ・シャンカラチャーリヤについて話しました。彼は、何世紀も前にインドでサツァングで共に集うことを最初に人々にもたらした聖人の一人です。

私たちがここで目にしているアーディ・シャンカラチャーリヤからの問いは、有史以前の昔から、聖人や賢人たちが問い掛けてきたものです。それらは過去何世紀にわたり核心を突くものであり、今も心に響くものです。なぜなら、これらは非常に深く、非常に本質的に切望を正確に言い表し、人間という存在を決定付けるものだからです。歴史を通して人々は、さまざまな方法でこれらの質問を探究してきました。彼らの探究は、しばしば信じ難いほどの創造性の表現や、平和と親善を育むことを助ける非常に具体的な行動をもたらしてきました。

シッダ・ヨーガの道では、私たちは、この目的とアイデンティティの最も根本的な旅の中で、グルの恩恵と教えに導かれており、それは計り知れない幸運です。「私は誰か？」—— この無限に豊かで、奥深さを持つ問い —— は、グルマーイが今年のバーバ・ムクターナンダのマハーサマーディを祝うシッダ・ヨーガ・シャクティパート・インテンシヴに与えた題名です。

シャクティパート・インテンシヴの重要性を誇張し過ぎることはありません。グルが、シャクティパート・ディークシャー —— 精神の道での私たちのサーダナーを開始させる目覚めとなる神聖な伝授 —— を授けるのは、インテンシヴの間です。バーバが、44年前の1974年に、シャクティパート・インテンシヴを創りました。以来、バーバとグルマーイは、数百回のインテンシヴを開催し、数え切れないほど多くの人々にシャクティパートを与えてきました。

今年のシャクティパート・インテンシヴは、10月27日の土曜日または10月28日の日曜日に世界中で行われます。スワーム・シャーンターナンダによる質疑応答を含むインテンシヴの詳細について、ぜひここを通読してください。

シャクティパート・インテンシヴに参加することに加えて、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを通してバーバの月を祝うことができます。10月中旬から、ウェブサイトでは毎年恒例のバーバの月のギャラリーが、満月へと満ちていく月の様子を特集します。あなたは写真を送ってこのギャラリーに貢献することができます。さらに、バーバがインテンシヴについて語っているビデオ、バーバの数々の教え、バーバの画像のダルシャン・ギャラリー、そして、感覚を内側に向けることについての解説もあります。

10月はナヴァラトウリー —— デーヴィー、すなわちシャクティパート・ディークシャーによってその力が私たちの中で目覚めるマハーグンダリニー・シャクティを祝う9夜の祭日 —— でもあるので、さまざまなデーヴィーの姿の幾つかを敬う私たちの助けとなる教え、賛歌、ナーマサンキールタナもあります。今年のナヴァラトウリーは、10月9日から17日までです。

このように、すべてにおいて、特別な時です。神聖な時です。恩恵の、その真の変容を引き起こす神秘的で人の心を奪う力と共に、まさに理屈抜きでここにあると感じる時であり、そして、その恩恵を花開かせ、私たち自身とこの世界を向上させるように促す私たち自身の責任が、いっそう求められていると感じる時です。シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでの10月に向かう日々の中で、私たちにこのこと —— 恩恵と努力と、それらが合わさった影響 —— について優しく思い出させる出来事がありました。夏はさようならを告げ、木々は色を変え始めていました。にもかかわらず —— ヒマワリがアーシュラムの庭や敷地のあちこちで顔を出し始めたのです！ それらは冷たい空気が入り込む直前の少しの間、多くは他のヒマワリのほとんどが植えられていた庭の区画から離れた場所で芽を出しました。それはまるで、スーリヤ・デー

ヴァターが歩き回ったのを私たちはまさに見逃し、この花々が彼のハスの花の足跡を鮮やかに残してくれたかのようにでした。

私は後に、これらの思いがけないヒマワリはアーシュラムの敷地に住むシマリスが植えたものだと知りました。そう、シマリスです。彼らはヒマワリの区画や庭にある鳥の餌場から種を集めました。それから、庭の忠実な新人のセーヴァイトのようにそれらの種を一面にまき散らし、光と温かさを敷地のあらゆる場所に——そしてそこを歩くすべての人々に運んだのです。

心を込めて

イーシャ・サーデサイ



© 2018 SYDA Foundation®. 著作権所有。